

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2018年5月号

NO. 296

TOPICS

協会活動参加のすすめ。

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 緒方 宏俊

MESSAGE P3

広報PRアカデミー2018「PRプランナー3次試験対応講座(夏期)」を6月開講

ATTENTION P4

第23回「PRプランナー資格認定検定試験」1次試験受験申込は6月1日(金)から!

ATTENTION P5

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:近見 竹彦

5月号 目次

5月～6月のスケジュール		— 1
MESSAGE(メッセージ)	協会活動参加のすすめ。	— 3
ATTENTION((お知らせ)	広報PRアカデミー2018「PRプランナー3次試験対応講座(夏期)」を6月開講	— 4
〃	第23回「PRプランナー資格認定検定試験」1次試験受験申込は6月1日(金)から!	— 5
BULLETIN(活動報告)	広報PRアカデミー2018「広報・PRスタートアップ講座」を開講	— 7
〃	「第6回 PRプランナーフォーラムin関西」を開催	— 8
〃	「PRプランナー資格認定制度」107名の2017年度後期(第21回)PRプランナー誕生	— 10
〃	第47回親睦ゴルフ会を4月10日に開催(会員限定)	— 13
REPORT(講演レポート)	第190回定例研究会全国紙・社会部の視点と報道 ～毎日新聞社会部長に訊く、企業不祥事対応のポイント～(会員限定)	— 13
VOICE of PR PLANNER	エンタメにおいてフリーランスでPRをやるということ	— 14
PR TREND(PRトレンド(関西))	印刷を通じて情報・文化の担い手に	— 15
協会掲載記事	「PRSJ in Media」	— 17
		—
		—
		—

5月～6月スケジュール

PRプランナー資格認定検定 2次試験	日 時 : 5月13日(日) 9:30～16:00 会 場 : 東京富士大学(東京) 毎日インテシオ(大阪) AQUA博多(福岡)
企業部会総会	日 時 : 5月18日(金) 18:00～ 会 場 : グランドプリンスホテル新高輪 バンケットルーム「イル レオーネ」
第6回通常総会・懇親パーティ	日 時 : 5月31日(木) 16:00～ 会 場 : 公益財団法人国際文化会館
広報PRアカデミー2018 3次試験対応講座	日 時 : 6月5日(火)、13日(水)、20日(水)、27日(水) 7月4日(水)、11日(水) いずれも 19:00～21:30 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ
第192回定例研究会	日 時 : 6月7日(木) 12:00～14:00 会 場 : AP東京八重洲通り 講 師 : NHK 報道局 高木 徹氏 テ ー マ : 未定

5月～8月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 10 日 (木)	16:00～18:00
	(6 月度)	日 時	: 6 月 14 日 (木)	16:00～18:00
		会 場	: 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
教育委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 21 日 (月)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
資格委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 17 日 (木)	17:00～18:30
		会 場	: 協会会議室	
国際・交流委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 22 日 (火)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
広報委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 24 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
顕彰委員会	(5 月度)	日 時	: 5 月 25 日 (水)	12:00～13:30
		会 場	: 協会会議室	
企業部会幹事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 16 日 (水)	17:00～18:30
		会 場	: 協会会議室	
PR業部会幹事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 15 日 (火)	16:00～17:30
		会 場	: 協会会議室	
PRプランナー部会 幹事会	(5 月度)	日 時	: 5 月 17 日 (木)	19:00～21:00
		会 場	: (株)電通パブリックレーションズ	

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 緒方 宏俊

協会活動参加のすすめ。

一昨年(2019年)の6月より教育委員会副委員長を拝命してから、早2年が過ぎようとしています。

わたし自身、初めて広報部門を担当することになり不安要素も多々あった中で、当協会の会員になって教育委員会に参加させていただいたことは大変心強い支えになりました。お陰様で(広く浅くではありますが)、短期間のうちに広報全般にかかわる情報・知識や、なにより幅広い人脈を構築する機会を得ることができました。

毎月一回の教育委員会では、各種教育プログラムの企画や講師の人選などを協議・検討していくのですが、わたしが企画したプログラムとしては、「定例研究会」での「CSV時代の社会価値ブランディング」や「笑いとともにもビジネスの核心に迫る TBS の『がちりマンデー!!』」など、自分自身が仕事でかかわってとても興味深く関心を抱いたテーマを取り上げ、直接交渉して登壇いただきました。

昨年10月には、わたしのような着任から間もない新米広報部門長を対象とした「新任広報部長講座～ベテラン広報部長を囲むお悩み解決の交流サロン～」を初の試みとして企画・開催し、参加者からも評価の声をいただきました。

教育委員会に限ったことではありませんが、広報経験10年、20年というベテランの広報パーソンでなければ実現できないような専門的なプログラムや大きなフォーラムイベントはもちろんありますが、わたしのような新米でもできる、または新米だからこそできる新たな視点や取り組みもあると思います。

また、女性の広報パーソンの活躍が広がる中、教育委員会の活動においても、女性広報パーソンのニーズへの対応や人材育成が重要課題です。

そんな思いから、今年3月に女性を中心に新たに教育委員を募集したのですが、想定を上回る多くの方々からご応募いただきました。来月からは新メンバーが加わり、さらにフレッシュにパワーアップした教育委員会の活動に大いに期待ください。

最後に、先日ある講演会で聞いた話をご紹介します。

「これまでの情報通信技術革命(印刷、電話、ラジオ・TV、FAX等)は、大人たちが先に受容しルールを作ってそれを若者に引き渡してきたが、インターネット&コンピュータによるICT革命は、人類史上初めて、常に若者が先に受容しルールを作った革命であり、それにより情報の主導権は若者が握ることになった。」

というわけで、これからはPRプランナーを目指す若手社員やコミュニケーションを研究している学生さんなど、若い人の視点や発想を取り込んだり、さらには協会活動にも気軽に参加してもらえそうな、そんな環境を作っていければと思います。

今後とも教育委員会の活動に対し、ご支援とご協力のほど、よろしく願いいたします。

広報PRアカデミー 2018

「PRプランナー3次試験対応講座(夏期)」を6月開講 ～第22回PRプランナー3次試験合格への最短経路～

教育委員会

協会では、「PRプランナー3次試験対応講座(2018年度夏期)」を、来る6月5日から6回にわたって「六本木アカデミーヒルズ」で開講いたします。



「PRプランナー3次試験対応講座」はPRプランナー資格取得を志す3次試験の受験者を対象に、合格に必要な知識やスキルを身に付けていただくことを目的として開講します。講座は、「ニュースリリースの作成」、マーケティング及びコーポレートの両分野における「広報・PR計画の立案作成」について、それぞれ2週にわたる講義と演習で構成されています。講義で学んだポイントについて実習を通じて的確に習得できるため、専門的なスキルを問われる3次試験の合格に向けた最も効果的な受験対策となります。講師には試験対策の指導に実績のある広報・PR実務の専門家を起用、6回の講座を通じて、ニュースリリース作成及び広報・PR計画の立案について欠かせない内容を学ぶことができます。

本講座では、インターネット回線を利用することにより、場所を選ばず任意の時間に受講できるWeb受講サービスを提供いたします。本サービスにより、遠隔地に居住の方、仕事に追われご多忙な方でも、パソコン等を利用して都合のよい時間に、また理解できるまで何度でも履修することができます。

本講座の受講はPRプランナー試験の最難関である3次試験合格に向けた最短コース。受講の詳細については、協会Webサイトをご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/prp/3rd_2018summer

■PRプランナー3次試験対応講座(夏期)の概要

日程	講座テーマ	講座概要	講師	受講料	申込締切
6月5日 (火)・ 6月13日 (水)	「ニュースリリースの作成」	ニュースリリースの作成に必要な知識、スキルを講義と演習で学ぶ	青田浩治氏 (株)電通パブリックリレーションズ)	会場受講+Web受講 日本PR協会会員社員 32,400円 PRプランナー(准・補) 取得者 43,200円 一般 48,600円	会場受講+ Web受講 6月4日(月) まで
6月20日 (水)・ 6月27日 (水)	「広報・PR企画の立案作成(マーケティング課題)」	マーケティング課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習により学ぶ	野村康史郎氏 (株)オスマピーアール)	Web受講 会員/PRプランナー/ 一般とも 32,400円	Web受講は 開講後も受 付けます
7月4日 (水)・ 7月11日 (水)	「広報・PR企画の立案作成(コーポレート課題)」	コーポレート課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習により学ぶ	高野祐樹氏 (株)井之上パブリックリレーションズ)		

※「日本PR協会会員社員」の料金は、法人正会員の会社・団体等の社員・職員、もしくは個人正会員・個人賛助会員ご本人様のみが対象となります。

(事務局 真部)

第 23 回「PRプランナー資格認定検定試験」 1 次試験受験申込は 6 月 1 日（金）から！ 東京・大阪・名古屋・札幌で実施！

資格委員会

第 23 回となる PRプランナー資格認定検定試験 1 次試験（実施：2018 年 8 月 26 日（日））を、東京、大阪、名古屋、札幌の 4 会場にて実施します。

日本 PR 協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は 1 次から 3 次にわたり、さらに書類審査を経て、広報・PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は 2007 年より発足しすでに 21 回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した 2,425 名（5 月 1 日現在）の PRプランナーが一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験申込期間は、7 月 27 日（金）までとなっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

<PRプランナー資格認定制度／検定制度 1 次試験 実施概要>

試験日	2018 年 8 月 26 日（日） 試験は東京、大阪、名古屋、札幌会場ともに 8 月 26 日（日）午前中に同時実施・終了する予定です。
募集定員	東京：400 名、大阪会場：80 名、名古屋会場：60 名、札幌会場：40 名
受験申込期間	2018 年 6 月 1 日（金）～2018 年 7 月 27 日（金） 受験申込から合否通知までの手順は次の通りとなります。
受験申込方法	当協会 Web サイトの「PRプランナー資格制度」から Web 上で申込となります。 ※今回の試験から、受験申込は完全にペーパーレス化となります。 <受験申込手順> ① PRプランナー資格制度 Web サイトにアクセス。 ② 受験申込フォームに入力 入力内容：氏名、受験種別、試験会場、受験票・合否発送先住所、生年月日、メールアドレス、受験料の振込日と振込人名、等 アップロード内容：受験者本人の写真データ ③ 入力確認画面を経て、受験申込完了。 ※今回から受験申込時に必要だった「受験予約」～「受験申込書送付」の手順を変更し、Web ですべての申込手続きが完了できるようになりました。

受験票送付	2018年8月10日(金) 発送
合否通知送付	2018年9月7日(金) 発送 ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、合否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2次試験ならびにPRプランナー補認定申請のご案内を、メールでも9月10日(月)にお送りします。

<1次試験 試験時間>

09時30分	各試験会場に入館できます
10時20分	指定の教室・座席にご着席ください
10時25分	注意事項伝達・試験問題配布
10時40分	試験開始
12時00分	試験終了

<第23回の試験日程(予定)>

第23回2次試験	
受験受付期間	2018年9月10日(月)～2018年10月5日(金) ※Web申込となります。
受験票送付	2018年10月26日(金)
試験日	2018年11月11日(日)
合否通知送付	2018年11月23日(金) ※郵送により通知
試験会場	東京会場・大阪会場・名古屋会場

第23回3次試験	
受験受付期間	2018年11月26日(月)～2018年12月21日(金) ※Web申込となります。
受験票送付	2019年1月11日(金)
試験日	2019年1月26日(土)
合否通知送付	2019年2月15日(金) ※郵送により通知
試験会場	東京会場のみ

※資格検定試験の詳細は、下記URLのPRプランナー資格Webサイトをご覧ください。

<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>

(事務局 宮松)

広報PRアカデミー2018

「広報・PRスタートアップ講座」を開講

4月16～18日、過去最高となる80名余が受講

教 育 委 員 会

協会では、4月16日から18日までの3日間、東京・秋葉原の富士ソフト・アキバプラザで80名に及ぶ受講者の参加のもとに2018年度「広報・PRスタートアップ講座」を開講しました。

「広報・PRスタートアップ講座」は、新入社や異動により新たに業務に携わる、比較的実務経験の浅い広報・PR新任者を対象として、業務の遂行に求められる考え方や知識、現場で活用できる実務スキルを習得していただく3日間の研修です。毎回、講師には広報・PR実務の専門家、企業広報マネージャー、報道関係者、弁護士など担当分野に精通したプロフェッショナルを迎え、それぞれの経験、専門的な知見に基づいた指導が行われます。



3日間にわたった今年の講座は、9つの講義、2つのワークショップで構成されました。パブリックリレーションズの基本をはじめとして、企業広報、マーケティング広報、クライシス・コミュニケーション、デジタル広報など実務における入門的内容をとともに、グループ演習を通じてニュースリリースやメディアリレーションズなど実務の基礎となるスキルを習得いただきました。

特に今年は、グローバルな開発目標として国連が提唱し、企業から経営的関心が高まるSDGs（持続可能な開発目標）を講座の1テーマとしてとり上げ、広報・PRの立場から経営施策との連携のもとにどのように推進するかを考える新たなプログラムを加えました。また全国紙の代表的存在である朝日新聞から経済部長を講師として招き、朝日新聞の編集方針や体制、デジタル時代における新たなメディア作りの取組、さらに取組新聞記者の行動原理、メディア対応における注意事項などご講義いただき、多くの受講者の関心を集めました。



今年の講座には、事業会社の広報・PR部門、PR会社及びPR業関連会社、諸団体から過去最高となる約80名が受講しました。講座の開講時には、初対面同士で堅い表情の受講者も2日目、3日目と次第に打ち解け、和やかな雰囲気なかで3日間の講座は進められました。広報・PRの仕事に希望を抱き参加した受講者の熱気に溢れ、今年度の講座も滞りなく終了することができました。3日間の講座を通じて広報・PRの基本を身に付けた受講者には、今後の活躍が期待されます。

(事務局 真部)

「第6回 PRプランナーフォーラム in 関西」を開催

関西地区広報担当者向け「読売新聞大阪本社」の視察と講演会を実施

プランナー部会

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）のPRプランナー部会では、PRプランナー向けに最新かつ高度なスキル取得を促進し、社会的責務に応えるプロフェッショナルの育成を目指した専門セミナーを定期的で開催しています。今回、関西地区において第6回目となる「PRプランナーフォーラム in 関西」を3月13日、大阪市内にある読売新聞大阪本社を会場として、3部構成で開催しました。

第1部は読売新聞大阪本社の視察、第2部の講演では「マスコミからみた広報担当者への期待」をテーマに、読売新聞大阪本社で広報宣伝部長を務めている戸田 博子氏をお迎えしました。戸田氏は、長年、ご自身が記者として経済部・経済部デスクや社会部、論説・調査研究室などを歴任されていたことから、記者と広報、双方の視点から広報担当者やPR業界関係者に向けて望む姿勢について、お話をいただきました。第3部は、会場を変更し、講師および参加者同士の交流を促す懇親会形式を取り、総勢26名のPRプランナーや広報担当者らが集まりました。



講演を行う戸田氏



見学ツアーの様子



第2部の講演に先立ち、第1部では読売新聞大阪本社に隣接する新聞工場と紙面づくりを行う編集フロアなどを見学しました。見学に際し、ガイドの方から新聞の印刷工程や歴史、仕組みについてご説明をいただきました。その後、地下4階～地下2階までつながる大型の印刷用転機5台が立ち並ぶ中、夕刊を印刷する様子を見学。印刷開始から発送用トラックの荷台に積載されるまで約2分半程度で作業が完了するというハイスピードな工程に、一同、感心しました。その後、記者の方が紙面づくりを行う編集フロアを見学。事務所中央には1日に数回、編集会議を行う大きなデスクがあり、テレビ会議を通じて、東京・大阪・西部・他2ヶ所、計5ヶ所を中継し、編集方針を話し合うといった、編集工程を教わりました。

その後、セミナールームに戻り、新聞社の紹介映像を視聴。視察ツアー後に、記念写真を印刷した特別な新聞が参加者へと配布されました。



当日配布された記念新聞



幹事を代表して挨拶する吉富氏



講演会の様子

第2部は、戸田 博子氏にご講演をいただきました。戸田氏の記者時代の経歴に始まり、広報宣伝部長としての現在の役割や業務内容、記者が望む企業広報への期待、新聞メディアの特性や記者との向き合い方について、幅広くお話を伺いました。

戸田氏は入社以来、地方支局に始まり、経済部での大阪機械記者クラブ担当など、約25年余り、経済記者として活躍され、2017年6月より現職の広報宣伝部長に就任されました。現在は、13名の部員を束ね、危機管理広報やマスコミ対応、リリース作成などの広報業務に加え、SNS運営や読者センターから寄せられる文書の確認、新聞社主催の企画展示の宣伝業務まで、幅広くご担当されています。

記者と広報、双方の立場を経験される中で、戸田氏はそれぞれに求められる能力は共通していると感じているそうです。記者においては、経営者の話に含まれるニュースとなるような情報のヒントを捉えるために、物事を深掘りして考える力が求められます。他方、広報も企業の中核において内部情報を把握し、物事を見極める力が求められる点が類似していると解説。広報はこうした能力を磨き、相対する記者が間違った理解をしないよう、誘導していくことが望ましいと述べました。戸田氏曰く、有能な記者であっても、時に思い込みをしている時があり、そうした場合に広報担当者が情報理解を間違わないように導いてもらえると、記者は恩義を感じ、相互の信頼関係にもつながっていくものだそうです。

また、記者の立場から企業広報への期待として、情報の結節点として、企業の経営戦略の未来を語っていただきたい、それには情報開示のタイミングを逃さないことが重要と述べました。加えて、メディアは情報として現在の動きに加え、業界における位置づけや、社会性・公的な意味などを知らたがり、そうした点を踏まえたリリースが記者から見た上手なリリースである、と続けました。そうしたリリースを書くためには、広報担当者として世の中の流れを踏まえ、先頭に行く動きを知ることが大切であると説きました。人材育成の観点から、若い広報担当者には、新聞を1紙でよいので、端から端まで一覧することを推奨いただきました。近年は新聞のスクラップサービスに頼る企業も多く、広報担当者自身が世の中の流れを掴めていないことや、売り込むべき新聞のコーナーを知らない点を補うことにもなるかと教えていただきました。戸田氏は、新聞はレガシーメディアと言われているが、新たなメディアと比べて、高い倫理観と取材力を持っていることを広報担当となって改めて感じている、と率直なご感想もいただきました。翻って広報担当者として、倫理観やコミュニケーション力を求められていることを気づかされる深いご講演内容でした。

参加者からは「メディアと企業広報、両方の視点から話が聞けた」、「記者への理解が深まり、今後の付き合い方に役立てたい」、「企業に対する物の見方、企業広報のあるべき姿など本音が伺えた」といった感想が聞かれました。第3部の懇親会でも参加者同士で交流を深めていただけたようです。

今後の「PRプランナーフォーラム in 関西」についても、関西のPRプランナーや広報関係者を巻き込みながら、広報担当者同士の交流を促すことと、「また参加してみよう!」と感じていただけるようなセミナーを企画していきたいと思えます。

「第6回 PRプランナーフォーラム in 関西」当日のプログラム

■ 会場：読売新聞大阪本社（大阪市北区野崎町5-9）

第1部 14:00～15:30

読売新聞大阪本社見学

第2部 16:00～17:45

講演「マスコミからみた企業広報への期待」

（読売新聞大阪本社 戸田部長）

第3部 18:15～ 名刺交換タイム、講師を含めた懇親会

PRプランナー部会 幹事 古矢 直美（パナソニック ホームズ株式会社）

「PRプランナー資格認定制度」

107名の2017年度後期(第21回)PRプランナー誕生

PRプランナーは2,425名!

資格委員会

今年1月に実施された第21回PRプランナー資格認定検定試験/3次試験の合格者109名のうち107名が、3月に行われた書類審査を経て、PRプランナーの資格を取得されました。

ここに、長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表してご氏名を公表させていただきますとともに、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

2017年度後期(第21回) PRSJ認定PRプランナー

(50音順/敬称略)

◇個人名、所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

飯嶋 健司 ((株)オズマピーアール)
 五十嵐 響介 ((株)電通テック)
 池谷 洋平 ((株)ミクシィ)
 伊田 桃子 ((株)プラップジャパン)
 伊藤 達也 ((株)電通)
 井端 隆 ((株)メンテックカンザイ)
 今井 亜希子 (クオール(株))
 岩佐 裕幸 ((株)電通テック)
 江口 雅和 ((株)電通テック)
 大関 麻実 (福助(株))
 大沼 啓介 ((株)電通テック)
 大古 麻利 (ライオン(株))
 岡野 佳世 (GMO ペパボ(株))
 梶間 勇一郎 ((株)マルイチ産商)
 金光 成洙 ((株)共同通信PRワイヤー)
 北澤 淳二 (国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
 黒澤 光 ((株)電通パブリックリレーションズ)
 古宇 朗人 (SOMPO リスケアマネジメント(株))
 小林 志織 (大成有楽不動産(株))
 小林 祐太 ((株)オズマピーアール)
 近藤 博子 (三機工業(株))
 坂田 壮平 ((株)電通テック)
 佐藤 健 ((株)クレディセゾン)
 佐藤 麻里絵 ((株)博報堂アイ・スタジオ)
 實野 圭佑 ((株)電通テック)
 島田 杏子 (GMO インターネット(株))
 高橋 綾子 (一般財団法人日本気象協会)

高濱 彰人 ((株)電通テック)
 田代 貴大 ((株)コーセー)
 田中 尚仁 ((株)電通テック)
 田中 道雄 (環境省)
 徳本 和也 ((株)ダイナム)
 中尾 潔乃 ((株)ワイヤ・アンド・ワイヤレス)
 中沢 渉 ((株)モメンタムジャパン)
 中田 晃博 ((株)電通西日本)
 西尾 さやか ((株)読売 IS)
 西川 文章 (セーラー広告(株))
 野島 武治 ((株)電通テック)
 橋爪 あかね (昭和シェル石油(株))
 橋本 恭輔 ((株)CCPR)
 橋本 崇次 ((株)電通テック)
 堀井 武宏 (CMG ジャパン)
 松尾 昭子 (日立ジョンソンコントロールズ空調(株))
 茂谷 逸平 ((株)電通テック)
 山口 憲介 ((株)電通)
 山路 健太郎 ((株)パピレス)
 山本 和輝 (BB ソフトサービス(株))
 吉田 慶子 ((株)NTT データ)

◇個人名、所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

石川 絢子 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 犬塚 圭介 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 内川 尚博 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 小田嶋 知宏 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 北村 和弘 (自治体・行政機関)
 須賀原 淳也 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 菅原 和也 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 永井 正太郎 (一般企業(その他の部署))
 中川 亮 (各種団体)
 並木 直子 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 根田 典子 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 旗本 祥代 (PR 関連会社)
 村澤 沙弓 (一般企業(広報・PR 関連部署))
 安場 孝 (一般企業(その他の部署))
 鱒淵 涼子 (その他)

◇所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

(株)エイレックス …女性 1 名
 (株)NTT データ …女性 1 名
 (株)KADOKAWA …男性 1 名
 (株)湖池屋 …男性 1 名
 JFE スチール(株) …女性 1 名
 事業創造大学院大学 …女性 1 名
 (株)電通テック …男性 1 名

(株)電通パブリックリレーションズ …男性1名、女性1名
(株)電通東日本 …男性1名
(株)内外切抜通信社 …男性1名
新潟県 …男性1名
(株)ブリヂストン …男性1名
ヤマハ(株) …男性1名
(株)ユース・プランニングセンター …女性1名
YKK AP(株) …女性1名

◇所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

PR関連会社 …男性1名
一般企業(広報・PR関連部署)…男性3名、女性10名
一般企業(その他の部署) …男性1名

※上記PRプランナーの皆様には、事前に掲載の承諾を得ております。

会 員 限 定**第 47 回親睦ゴルフ会を 4 月 10 日に開催
優勝は(株)ユー・エス・ジェイ 高橋 丈太氏**

P R 業 部 会

4月10日、PR業部会では3回目の開催となる親睦ゴルフ会が、多摩カントリークラブで開催し、11名が参加されました。親睦ゴルフ会は、会員相互の交流親睦を図る協会唯一のスポーツイベントとして毎年春と秋に開催しています。

当日は、晴天なれど風がとても強い天気で、各参加者は苦戦を強いられましたが、満開の八重桜と武蔵野のゆるやかな起伏を満喫してのプレーとなりました。

RREPORT**会 員 限 定****第190回定例研究会****全国紙・社会部の視点と報道****～毎日新聞社会部長に訊く、企業不祥事対応のポイント～**

講師：毎日新聞社 編集編成局
社会部長 磯崎由美 氏

第190回定例研究会（3月度）は、3月28日（水）12：00から、日本記者クラブで開催しました。

講師は毎日新聞社 社会部長 磯崎由美氏。テーマは「社会部の視点と報道-毎日新聞社会部長に聞く企業不祥事対応の巧拙-」。当日の参加者は63名でした。

エンタメにおいてフリーランスでPRをやるということ

栗村香織

フリーランスでPR・編集・ライターと、3本の柱を軸に働いています、社会人歴17年目、フリーランス歴3年目、PRプランナー取得2年の栗村香織です。

PRSJの中でも少し変わった職歴かも知れません。大学卒業後、吉本興業に入社。1年半のマネージャー経験後、当時芸人さん数百人所属の中わずか3人という東京支社広報部に約8年在籍しました。会見など一般的な広報業務はもちろんのこと、PRという言葉聞いたことがなかった2000年代前半、お笑いブームで毎日山のように来る取材依頼をあますことなく芸人さんたちの告知や特技につなげたいと思い、取材依頼すべてを一手に引き受けたことが、今の私の“PR”の柱となりました。

当時の吉本広報では、『マンスリーよしもと』という300円のミニ雑誌を毎月制作。自主ではなく、きちんと広告タイアップもつけ、書店販売していました。内容はかなりマニアックだったかもしれませんが、プロの編集者、ライター、カメラマンと協力し、唯一無二の、日本のお笑いを世界に誇れる魅力的な企画を作っていた自信があります。これが私の“編集”の柱です。

その後、芸人さんの広報を続けたいと願っていた私のところに偶然降りてきたのが、Webサイト「お笑いナタリー」の立ち上げ話。後ろ髪を引かれながら吉本を去り、まだ世の信頼を得ていなかったWebニュースという未知の分野で、不安の中、1本でも多く芸人さんの記事をアップするため、寝る間も惜しんで書いた記事数は5年弱で約1万5000本。すべてのお笑い事務所との関係を構築し、他の媒体がまだあまりやっていたなかった芸人会見の速報や、芸人さんと密だからこそ可能なSNSを沸かせるスモールマス向きのコア記事など、Webの特性を学ぶとともに、

“ライター”という柱ができました。

しかし、いずれ実家のある岡山県で観光に携わる仕事がやりたいと考えていたため、部署異動を機に退職。そこで取得したのがPRプランナーの資格です。1次試験では、広報になりたての頃にぜひ読みたかった！と思う参考書の内容に感激。3次はセミナーに参加し、まったく知らなかった芸能以外の業界を知り、今でも集まって飲む心強いPR仲間ができたことに感謝しています。すでに帰省を宣言していたため、資格勉強中は単発の仕事のみ受諾。ライブのPR、パンフレットやフライヤーの制作、テレビ局の番組原稿、リリース制作・配信、会見の仕切り、イベントキヤスティングなど、1人でやる責任の重さを感じつつも、これまでやってきたことがすべて活かせることへの大きな充実感を感じていました。そこに、PRプランナーの資格を取ったことで、現在主軸であるぴあ株式会社をはじめ、芸能、テレビ、イベント、DVD・出版業界などから、業務提携、レギュラーの仕事の依頼が舞い込みました。驚き、困惑しましたが、経験を積むことが今後のためになると思い、帰郷を延期。今でも芸人さんたちに「まだおるんかい！」とツッコまれながら、テヘへとごまかす毎日です。

お笑い界にPRという言葉が浸透し始めたのは最近ことではないでしょうか。商品そのものが強いPR力を持ち、マネージャーがPRも担うからです。しかし多種多様なコンテンツが増えるとともに、ライバル業種も増えた現在において、効果的に商品の力をサポートする広報・PRパーソンの活用は俄然有利だと考えています。私自身、例えば1つのライブにおいて、情報解禁に始まり、フライヤー・グッズなどのディレクションや制作、ライブレポートまで携わりリリースも兼ねることは利便性が高い上、受け手を惹きつけるための一貫性やストーリー構築がしやすく、SNSでの反応も増加傾向にあると実感。商品自身やマネージャーではカバーしきれないところを大いに担えます。あまり周りに同業がないため、情報不足&独断になりがちなのが今の悩みですが、PRSJのセミナーや仲間助けられながら、今後さらに幅を広げられればと思っています。

<コラム関西の風>

印刷を通じて情報・文化の担い手に

凸版印刷株式会社
西日本事業本部 関西事業部
関西ソーシャルイノベーションセンター 販売促進部
課長 森澤 和明

先ず最初に、当社の企業理念について述べます。
企業理念について（右図）



私たちは

企業理念は、当社に働く「私たち」一人ひとりに共通する価値観であるという姿勢を示しています。当社が大切にしてきた、人間尊重の考えをここに表しています。

常にお客さまの信頼にこたえ

日々の業務を行っていくうえで、お客さまの満足や喜びを第一に考え、お客さまとの強い信頼関係を築いていきます。「顧客第一主義」として、これまで大切にしてきたこの考えは、今後もすべての事業活動の基盤としていきます。そして私たちの「お客さま」として、企業だけでなく広く生活者の皆さまとも、信頼関係を築いていきます。

彩りの知と技をもとに

「印刷」の持つ再現性や創造性、精緻さを「彩り」と表しています。それを引き出す企画力やマーケティング力を「知」、技術力を「技」とし、この二つの強みを組み合わせることでお客さまのさまざまな思いを実現していきます。

心をこめた作品を創りだし

私たちがお客さまにおくりだすものはすべてすぐれた品質の「作品」です。「作品」とは、一人ひとりが、責任と情熱と工夫をもって創りあげる製品やサービスであり、私たちの培ったノウハウや知力をそそぎ込んだソフトです。私たちは、これからも「心をこめた作品」を創り続けていきます。

情報・文化の担い手として

私たちは印刷を通して情報・文化の発展に多大なる貢献をしてきたという自負があります。これからも時代の変化を先取りしたさまざまな技術を展開し、誇りと気概をもってこの役割を果たしていきます。

ふれあい豊かな暮らしに貢献します

私たちは、人と人、人と企業、企業と企業をつなぎ、コミュニケーションを活性化していきます。それにより、こころ豊かで満ち足りたくらしの実現に積極的に貢献していきます。

企業は今、CSV（共有価値創造）という事業活動を通じて、社会的課題に応え、社会的価値を創り出すことがますます重要になってきています。当社でも、それを実現する為の、ソーシャルイノベーションセンターという組織が発足しました。しかし、当社だけで社会的価値を生み出すのは、難しいです。お客様や生活者と一緒に考えることが出来る交流の場が必要です。

当社には、本社をはじめ各エリアに、お客様とのコミュニケーションを図る場として「PLAZA21」＝写真＝というショールームがあり、関西は中之島フェスティバルタワー24階にあります。私はこの運営に携わっています。



また、JR大阪駅北側のグランフロント大阪北館ナレッジキャピタル「The Lab. みんなで世界一研究所」内の当社ブースでは、『感性』と『技術』の融合による『新しい価値』の創造』というコンセプトを基に、来場者に「驚き」と「感動」を伝える展示を心がけています。



「PLAZA21」＝写真＝は、ビジネスコミュニケーションの場として予約制ですが、「The Lab.」は一般の方々も無料で楽しんで頂けます。是非、足を運んで頂けたら幸いです。

PR SJ in Media

● 5月1日（火） 『月刊広報会議』5月号

『月刊広報会議』5月号における当協会の連載コラムで、女性広報研究会として開催している「なでしこカウンスル」について記事掲載されました。今回の「なでしこカウンスル」には講師として、BTジャパン代表取締役社長の吉田晴乃氏をお招きし、「デジタル時代における女性の活躍」をテーマにご講演いただきました。

ご講演では、吉田氏からITテクノロジー活用の可能性や外資系企業における経験と仕事観、さらに子を持つ母としての家族へ思いなどが語られ、同じ女性として仕事の世界で悩みを持つ多くの女性参加者の共感を集めました。

● 5月1日（火） 『月刊広報会議』5月号

『月刊広報会議』5月号における「INFORMATION」において、当協会が開催した「PRプランナー10周年特別シンポジウム」について掲載されました。記事では、アサヒグループホールディングス代表取締役会長兼CEOの泉谷直木氏の講演と企業の広報・PR部門長の参加に基づくパネルディスカッションの概要、PRプランナー部会による「PRプランナー宣言」の実施などについて紹介されています。

● 5月1日（火） 『月刊広報会議』5月号

『月刊広報会議』5月号における「最強の本誌連載陣14人が選ぶ「広報入門」おすすめ本」において、当協会が刊行した「広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2018年版」が掲載されました。記事では、本書が「メディアの種類や広報用語などの広報にかかわる基礎知識を幅広く網羅し入門者に最適」と紹介されています。

[記事協力 株式会社内外切抜通信社]

(事務局・真部)

編集担当から

会員のみなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

■ 事務局から

PRプランナー資格制度 試験専門委員会 名誉委員長 猪狩 誠也さんがご逝去されました

日本の広報論の第一人者のひとりでもあり、当協会PRプランナー資格制度の創設者のひとりでもある猪狩 誠也さんが、4月23日に84歳でご逝去されました。

協会活動では、PRプランナー資格制度の立ち上げから、その後の実施まで、試験体系の監修、参考図書のご執筆、さらには試験問題の作成と取りまとめ等、幅広い活躍をされました。

生前のご功績に敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載